

所属・職位	医学部看護学科・学科長・基盤看護学講座基礎看護学領域・教授	
氏名	原田 千鶴 (Harada Chizuru)	
取得学位	修士 (看護学)、日本赤十字看護大学、1996年3月	
SDGs目標	 	

研究分野	看護管理学 基礎看護学
研究キーワード	看護管理者育成 看護人材の育成 看護職の職場適応 看護技術の伝承
研究内容	<p>1. 中小規模病院の看護管理者の管理能力向上過程についてのアクションリサーチ 「大分県中小規模病院等看護管理者支援事業」を通じ、地域の看護管理者の管理活動検討会を組織化し、ファシリテーターでの参加観察を通じ、支援者の能力向上過程と支援方法について検討している。各自の看護管理課題を看護管理者同士で共有し、互いの実践知を提供しあうことでエンパワメントされることで、看護管理者が自律して課題解決に取り組む様子が見られ、組織を超えた交流環境が管理能力の向上に関連していた。(論文1)</p> <p>2. キャリア中期 (中堅) 看護師のキャリア発達支援に関する質的研究 出産・育児・介護などライフイベントに取り組みながら働く女性看護師の就業継続意識、配置転換の経験をするることによる看護師のキャリア発達、日々の仕事を通じた看護師の成長について面接調査で、キャリア中期 (中堅) 看護師を対象にした研究である。キャリア中期の看護師が出産や育児の経験を経て専門職として就業継続するにあたり、専門職としての成長を目指す強い意識と自律的に人的環境調整や社会資源の活用する行動力が発見でき、働き続ける方法だけでなく働き続ける意思の早期形成の必要性が明らかになった。(論文2) (論文3)</p> <p>3. 看護技術の伝承における「わざ言語」に関する調査 看護技術を学ぶにあたり、学ぶべきものとは何か、どのような言葉で促されるのかに焦点をあて、わざを学ぶ側の認知プロセスを明らかにする目的で取り組んだ学際的研究である。第一線の指導者や実践者へのインタビューを通じて、それぞれの現場で「わざ言語」が作用する構造の解明を試みた。「わざ言語」は様々で、わざ言語を通して動きを学び「感覚を共有」すること、わざ言語として書かれた文字を通して、師匠の芸や過去の自身と対話し感覚を共有することが作用していることが分かった。(著書1)</p>
研究業績・アピールポイント	<p>論文1 福田広美, 原田千鶴, 副田明美他: 中小規模病院等の人材育成に関する看護管理向上のプロセス—地域の看護ネットワークを基盤としたアクションリサーチ, 日本看護管理学会誌 25 (1), 118-128, 2021</p> <p>論文2 岐部千鶴, 原田千鶴, 宮崎伊久子, 大戸朋子: 第1子を出産した看護師の就業継続を促す経験に関する研究 日本看護学会論文集 看護管理(47)pp86-89, 2017</p> <p>論文3 後藤啓子, 原田千鶴, 宮崎伊久子: 一般病棟から緩和ケア病棟に配置転換となったキャリア中期看護師の学び 日本看護学会論文集 看護管理(48)pp321-324 2018</p> <p>著書1 生田久美子, 北村勝朗, 原田千鶴ほか「わざ言語 - 感覚の共有を通しての「学び」へ— 慶応義塾大学出版会, pp163-187 pp335-361 2011</p>